



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社 上組
コード番号 9364 URL <https://www.kamigumi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 深井 義博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 岸野 保宏

TEL 078-271-5119

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	207,971	5.8	17,907	1.6	19,370	2.1	13,385	4.3
2018年3月期第3四半期	196,521	6.8	17,632	3.5	18,973	4.6	13,982	12.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 11,839百万円 (26.7%) 2018年3月期第3四半期 16,142百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	110.62	
2018年3月期第3四半期	114.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	388,677	329,929	84.7
2018年3月期	383,481	321,907	83.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 329,019百万円 2018年3月期 321,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		7.00		21.00	
2019年3月期		22.00			
2019年3月期(予想)				23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は35円となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	3.3	23,300	1.4	25,600	3.9	18,000	0.5	148.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	134,386,837 株	2018年3月期	134,386,837 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	13,384,518 株	2018年3月期	13,384,461 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	121,002,363 株	2018年3月期3Q	122,460,986 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値と比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中における通商問題の影響や、英国におけるEU離脱問題など不確実性はあるものの、米国をはじめ、アジア、欧州とも緩やかに回復致しました。

わが国におきましても、設備投資の増加や、雇用情勢、企業収益が改善するなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。

物流業界においては、輸出入貨物ともに堅調な荷動きではあるものの、受注競争の激化や物流形態の多様化、労働力確保の問題など、経営環境は依然として厳しい状態が継続しました。

このような状況下にあつて当社グループは、新たにアラブ首長国連邦と米国において現地法人を設立し、またミャンマーにおいてターミナル運営に参画するなど、グローバル・ロジスティクスの強化を図り、顧客ニーズを取り込んだ「上組デザイン物流」を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、コンテナや自動車に加え、飼料原料の取扱い増加などにより、前年同期に比べて5.8%増収の2,079億71百万円となりました。利益面におきましては、人件費や外注費が増加となりましたが、営業利益は前年同期に比べ1.6%増益の179億7百万円、経常利益は前年同期に比べ2.1%増益の193億70百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は投資有価証券売却益等の計上がありました当第3四半期はなくなり、4.3%減益の133億85百万円となりました。

セグメント別の事業の状況は次のとおりであります。

[国内物流事業]

国内物流事業におきましては、コンテナや自動車に加え、飼料原料の取扱い増加により、国内物流事業部門の営業収益は前年同期に比べて3.3%増収の1,718億48百万円となりましたが、セグメント利益は人件費や外注費の増加により2.0%減益の159億87百万円となりました。

[国際物流事業]

国際物流事業におきましては、連結子会社の増加により、国際物流事業部門の営業収益は前年同期に比べて7.2%増収の258億69百万円となりましたが、海外プラント貨物のプロジェクト輸送が減少したことなどにより、セグメント利益は前年同期に比べて13.0%減益の10億36百万円となりました。

[その他]

その他の事業におきましては、重量貨物の運搬据付及び建設機工工事の取扱いが増加したことにより、その他の事業部門の営業収益は前年同期に比べて41.6%増収の216億69百万円、セグメント利益は、重量貨物の運搬据付及び建設機工工事の取扱いが増加したことに加え、前年同期は不動産賃貸業における新規施設取得に伴う初期費用の負担がありました当第3四半期はなくなり、大幅な増益の8億76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、「現金及び預金」及び「受取手形及び営業未収入金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて51億96百万円増加の3,886億77百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、「支払手形及び営業未払金」が増加したものの「未払法人税等」及び流動負債の「その他」に含まれる「未払金」が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて28億25百万円減少の587億47百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による「利益剰余金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて80億21百万円増加の3,299億29百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、84.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、2018年11月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,611	55,405
受取手形及び営業未収入金	44,638	47,312
電子記録債権	600	853
たな卸資産	1,016	934
その他	6,667	6,554
貸倒引当金	△56	△57
流動資産合計	104,477	111,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	112,910	108,787
土地	94,092	96,760
その他（純額）	19,612	22,263
有形固定資産合計	226,615	227,811
無形固定資産		
	7,471	7,096
投資その他の資産		
投資有価証券	35,311	33,194
その他	9,822	9,788
貸倒引当金	△217	△216
投資その他の資産合計	44,916	42,767
固定資産合計	279,003	277,674
資産合計	383,481	388,677
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	26,363	28,078
未払法人税等	4,890	1,687
賞与引当金	134	124
その他	13,097	11,416
流動負債合計	44,486	41,307
固定負債		
役員退職慰労引当金	26	29
船舶特別修繕引当金	14	17
退職給付に係る負債	15,955	16,355
その他	1,089	1,037
固定負債合計	17,086	17,440
負債合計	61,573	58,747

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,642	31,642
資本剰余金	26,854	26,854
利益剰余金	281,680	290,205
自己株式	△24,020	△24,020
株主資本合計	316,156	324,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,530	4,897
為替換算調整勘定	△45	137
退職給付に係る調整累計額	△796	△696
その他の包括利益累計額合計	5,688	4,338
非支配株主持分	62	909
純資産合計	321,907	329,929
負債純資産合計	383,481	388,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業収益	196,521	207,971
営業原価	166,095	176,127
営業総利益	30,425	31,844
販売費及び一般管理費	12,793	13,937
営業利益	17,632	17,907
営業外収益		
受取利息	28	26
受取配当金	609	694
持分法による投資利益	240	461
その他	486	293
営業外収益合計	1,365	1,476
営業外費用		
その他	23	13
営業外費用合計	23	13
経常利益	18,973	19,370
特別利益		
固定資産売却益	60	43
投資有価証券売却益	689	—
関係会社株式売却益	—	15
補助金収入	170	—
特別利益合計	920	58
特別損失		
固定資産除売却損	145	123
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	145	125
税金等調整前四半期純利益	19,748	19,303
法人税、住民税及び事業税	5,481	5,534
法人税等調整額	280	350
法人税等合計	5,762	5,885
四半期純利益	13,986	13,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,982	13,385

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	13,986	13,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,049	△1,628
為替換算調整勘定	△10	△25
退職給付に係る調整額	86	99
持分法適用会社に対する持分相当額	29	△24
その他の包括利益合計	2,155	△1,578
四半期包括利益	16,142	11,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,136	11,806
非支配株主に係る四半期包括利益	5	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流 事業	国際物流 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	162,086	22,032	184,119	12,402	196,521	—	196,521
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4,308	2,091	6,400	2,905	9,306	△9,306	—
計	166,395	24,124	190,519	15,307	205,827	△9,306	196,521
セグメント利益	16,307	1,191	17,498	129	17,628	3	17,632

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、重量建設機工事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額3百万円は連結消去に係る決算調整額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流 事業	国際物流 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	165,688	23,534	189,222	18,748	207,971	—	207,971
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6,160	2,335	8,495	2,920	11,415	△11,415	—
計	171,848	25,869	197,717	21,669	219,387	△11,415	207,971
セグメント利益	15,987	1,036	17,024	876	17,900	6	17,907

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、重量建設機工事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額6百万円は連結消去に係る決算調整額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は2019年2月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について以下のとおり決議しました。

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| (1) 取得の理由 | 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。 |
| (2) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (3) 取得する株式の総数 | 1,700,000株(上限) |
| (4) 取得する期間 | 2019年2月12日から2019年3月22日まで |
| (5) 取得価額の総額 | 4,000百万円(上限) |
| (6) 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付け |